



果樹生育情報

VOL. 4



令和4年7月22日
栗原農業改良普及センター
TEL 0228-22-9437

<りんごの生育状況>

表1 7月11日現在の生育状況

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	45.3	45.3	42.7
	平年(mm)	44.5	46.5	46.0
	平年比(%)	101.8	97.4	92.8
ヨコ径	本年(mm)	51.8	51.6	47.8
	平年(mm)	48.4	50.5	48.6
	平年比(%)	107.0	102.1	98.3

7月11日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、98~107%(ヨコ径)と平年並みから平年よりやや大きくなっています。

6月29日の梅雨明け発表後に雨の日が多く、特に7月15日からの大雨では、他の作物において土地の低い場所が冠水する等の被害が出ています。幸い、管内のりんご生産者の方々からは被害の報告はありませんが、今後も気象情報には十分注意しましょう。

仙台湾気象台による向こう1か月(7月23日から8月22日)の天候予報によると、「暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。高気圧に覆われやすいため、向こう1ヶ月の日照時間は平年並みか多い見込みです。」との予報が出ています。

栽培管理においては引き続き病害虫の重点防除期間です。雨が続けていますが、晴れ間を逃さず防除作業を行い、なるべく防除間隔を開けないようにしましょう。

<病害虫情報>

下表は6月24日に宮城県病害虫防除所より発表された発生予報です。管内では斑点落葉病、ハダニの発生が多い園地が見られます。

仙台湾気象台発表の向こう1ヶ月の天候予報では、晴れ間が出て、気温の高い日が多い予報が出ています。ハダニの好適発生条件となりますので、園地を常に観察し、必ず多発する前に防除をするよう心がけましょう。草刈り及びハダニ剤の散布を予定している場合には、草刈り後にハダニ剤を散布するようにしましょう。



表2 宮城県病害虫防除所発生予報第4号(令和4年6月24日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多い	・巡回調査の結果、発生地点率は平年より高く、発病葉率が高いほ場が確認された。(+) ・定点調査ほ(品種:ふじ)の新梢における発病葉率は、6月上旬以降、平年並から高く推移している。(±~+) ・高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(+), 降水量はほぼ平年並と予報されている。(±)
ハダニ類	やや多い	・巡回調査の結果、発生地点率は平年よりやや高かった。(+) ・高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(+), 降水量はほぼ平年並と予報されている。(±)
アブラムシ類	平年並み	・巡回調査の結果、発生地点率は平年並であった(±)。 ・乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予報されている。(±)
キンモンホリカ	やや多い	・巡回調査の結果、被害葉率及び発生地点率は平年より高かった(+).(例年、この時期の調査では発生は確認されないか少発生である。) ・20~25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(一~±)

発生量・・・(+): 多くなる要因, (±): 平年並になる要因, (-): 少くなる要因